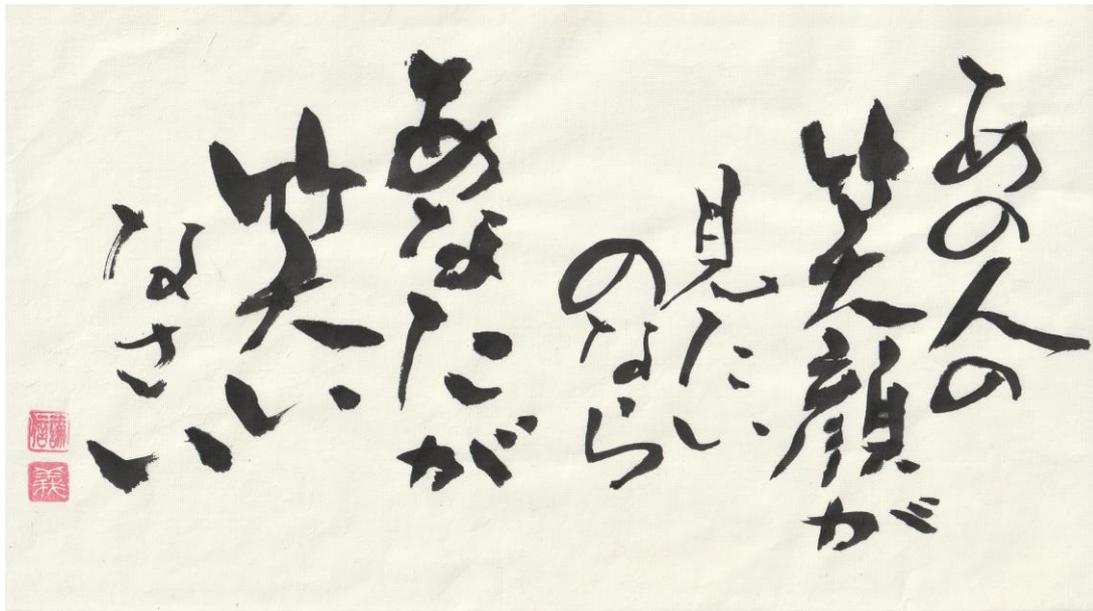


No.210

2022年(仏歴2553年)11月3日発行



↑街角にある掲示板的言葉 (2022年11月)



あの人のが
見たいのなら
あなたが
笑いなさい (S/Sより)

笑顔の美しい方がいる。そのような方にお会いすると、思わずこちらもつられて笑顔になる。

逆もある。こちらがブスツとした顔をしていれば、目の前の方もまた、ブスツとした顔になってしまう。

自分を抜きにしてはいけない。

今、目の前の人は、笑顔になれているか。今、私は目の前の人に、笑顔を届けられているか。(住職)

↓存明寺HP インスタは左下↓
<https://zonmyoji.jp>



ZONMYOJI_SAKAI



存明寺HP Instagram更新中! 📍右のHPかQRから。
お寺のこども食堂や諸活動、掲示板的の言葉や花手水、
法話動画などなど、定期的に更新中。ご覧ください。

親鸞 ゆさぶる言葉

ひとびとの信心の
まことならぬ
あらわれの
よきこと
そうろう
そうろう
そうろう

「御消息集」より

痛恨の出来事、と思うことがあった。良かれという思いが先走って、ある方にひどい言葉を投げかけてしまった。言い過ぎた。そんな思いが私の中に渦巻いた。そして、その人との今までの深い関係は、壊れてしまった。その時が自分を苦しめた。人に傷つけられた夜は眠れないが、人を深く傷つけた夜も眠れないもの。あの出来事はいったい何だったのだろうか。何の意味があったのだろうか。それがわからなかった。できれば帳消しにしたい。そして、しばらく時が流れた。

ある時、親鸞聖人の言葉が、飛び込んできた。

ひとびとの信心の

まことならぬことのあらわれてそうろう

よきことにてそうろう

自分こそが正しいという思いを握りしめ、自分中心のゆがんだ心があらわになった瞬間だったのだよ、と言われている気がした。

そして、それは帳消しにすべきことではなく、「よきこと」なのだよ、と呼びかけられた気がした。

そこから自分のゆがみを学べ。そのゆがみを照らすひかりに帰れ。

親鸞聖人は今、そのように私に呼びかけているのではないだろうか。



書・文 酒井義一 ● さかい よしかず
1959年東京生まれ。真宗大谷派存明寺住職。

月間『同朋』（東本願寺出版）に連載中の住職のコラム10月号より転載



みんなの願い

▼ある人がこんなお話を教えてくれました。星新一さんが編んだ『ショートショート みんなの広場』の中の「みんなの願い」という作品です。

「ある時、神様の使いが地球にやって来てみんなに呼びかけました。「地球は誕生から宇宙時間の一周期に達したので、これをお祝いして神様がみんなの願いをひとつ叶えることになりました。1週間後に自分の願いをひとつだけ念じてください。その中から一番多かった願いを叶えます」みんなそれぞれ懸命に考え、1週間後のその日、それぞれの願いを心に念じました。神様の使いが結果を発表しました。「神様が叶える願い事は人間以外のほとんどの生物の願いである

人と生まれて 教えに出会う

「人間を地球上から消滅させて下さい」というものに決定しました。皆様、次の1周期を目指して地球を大切にして下さい。それでは、ごきげんよう。」人間たちが最後に聴いたのは動物たちの歓喜にも似た喜びの声でした」という作品でした。▼みんなの願いとは、人間たちのみんなの願いだと思ってしまうましたが、実は地球上の生きとし生けるものの願いだったのです。コロナという時代となり人間が生活を自粛すると、皮肉にも川や海や森が美しくなったという報告がありました。ロシアでは正義を掲げて、大地を汚し、人間のみなならずたくさんの生き物を殺している戦争が現在も行われています。まさに人間以外の生き物の願いが「人間を消滅させて」と叫んでいるかのような現実がそこにあります。そのことに痛みを感じて、人間が他の生物から地球の仲間だと思われる日はどうしたらやってくるのでしょうか。そんな問いをこの作品とこの世の現実が、私たちに投げかけています。

慶讃法要をお勤めしたいと考えております。▼時期は未定です。コロナが恐れるに足らない病気になった頃を見定めて、人間関係の再生やお寺の活動の再出発を願いとして、皆さんとアイデアを出しあいながら、親鸞聖人の慶讃法要を心こめてお勤めしたいのです。それは今を生きる私たち一人ひとりが、今も生きてはたらく親鸞さまに出会う時でもあります。

親鸞と出会う旅 申込受付中
 慶讃法要へ 案内文あります
 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年 立教開宗八百年慶讃法要へ
 日時 2023年(令和5年)
 4月21日(金)～22日(土)
 日程 ①東京～大阪・難波別院 法話～夕食～ホテル泊
 ②大阪～京都・東本願寺 法要参拝～現地解散
 宿泊 大阪エクスセルホテル東急
 費用 40,000円
 ※帰りの交通費は含みません

お寺のひろば 2022年(令和4年)

お寺の写真館(2022年10月)



右上から時計回りに、①こども会 ②こども食堂 ③樹心の会別座談会 ④真宗聖典輪読会の様子。

2022年 年内の行事のひろば

11月12日(土) 14時〜 樹心の会
 お話：城ノ下恭博さん&酒井義一住職
 11月15日(火) 14時〜 真宗聖典輪読会
 12月6日(火) 14時〜 真宗聖典輪読会
 12月10日(土) 14時〜 樹心の会
 お話：三好浩一さん・酒井義一住職
 12月17日(土) 14時〜 グリーフケアのつどい
 1月1日(日) 10時〜 修正会
 オンラインZoomにて参加することも可です。

2023年 来年の行事のひろば

1月1日(日) 10時 修正会
 3月11日(土) 14時 樹心の会
 3月17日(金) 13時 おそうじの日
 3月21日(火) 11時と13時 春のお彼岸法要
 3月25日(土) 14時 グリーフケアのつどい
 4月15日(土) 14時 樹心の会
 4月28日(金) 10時 おみがきのつどい
 5月3日(水) 10時 永代経法要
 5月13日(土) 14時 樹心の会
 6月10日(土) 14時 樹心の会
 6月24日(土) 14時 グリーフケアのつどい
 7月8日(土) 11時 新盆法要
 7月13日(木) 11時と13時 お盆法要
 8月26日(土) 午後 青年のつどい
 9月9日(土) 14時 樹心の会
 9月15日(金) 13時 おそうじの日
 9月23日(土) 11時と13時 秋のお彼岸法要
 9月30日(土) 14時 グリーフケアのつどい
 10月14日(土) 14時 樹心の会
 10月25日(水) 10時 おみがきのつどい
 11月2日(木) 14時 報恩講のゆうべ
 11月3日(金) 10時 報恩講法要
 11月11日(土) 14時 樹心の会
 12月9日(土) 14時 樹心の会
 12月16日(土) 14時 グリーフケアのつどい
 こども食堂・子育てサロン・こども会・聖典輪読会も、感染対策をしながら開催中です。

【あとがき】

▼お寺の活動は、ハイブリッドにて活動中です。生参加とオンライン、選べるふたつの参加方法のことです。最近では、以前と同じようにたくさんの方々にぎやかになりつつあります。▼しかしコロナの収束はまだしばらく見通せません。感染対策はばっちりとしていきますので、よろしければコロナ禍のお寺の行事にも、是非ご参加ください。▼寒さが本格化してきそうです。御身ご自愛の上、ご活躍ください。

存明寺の行事に ZOOM で参加【年内】

下の URL か QR コードからどうぞ。

<https://qr.paps.jp/f5dAo>

ミーティング ID:
 825 5429 2676
 パスコード: 461458



東京都世田谷区北鳥山4-15-1

真宗大谷派 存明寺

住職 酒井 義一 (釋諦信)

〒157-0061 TEL 03-3300-5057

FAX 03-3300-5880